

私立大学情報教育協会
平成29年度
大学職員情報化研究講習会
基礎講習コース報告

A-3班 MENARYU

発表テーマ

**「社会の発展に資する研究と人材の輩出」
～学生が社会で生き抜く力を身につける～**

概要①

1. 私たちが考えた大学の役割

【研究】

- ・社会に役立つ研究成果の発信
→ 社会に貢献する。

【教育】

- ・大学で得た知識を活用できる人材の輩出
→ 社会で生き抜く力をつける。

社会に役立つ人材とは…

利益を出せる人
バリューが高い人



個々の能力が異なるため、本人の能力を
100%発揮させるとバリューの総和が高くなる



本人の希望や適性とのマッチング
大学で得た知識・スキルを活かす



重要

概要②

2. 役割を果たすために、大学は何をしなければいけないのか

様々な大学に共通する課題をICT（AIや電子化）によって解決し、それによって発生した時間と資金を「教育・研究・社会貢献」に投資する。

→ 例)設備投資、人材雇用・育成、地域連携、独自の奨学金、研究費

大学の現状分析と解決策

1. 注目した課題・問題

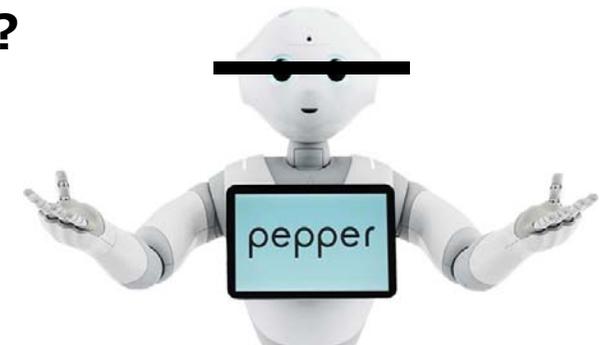
「教職員・学生の各種手続きの煩雑さ。」

- ① 教員の書類作成（外部資金獲得や資格審査）に手間が多い。
- ② 法人の決裁（意思決定）に時間がかかる
- ③ 職員の業務引き継ぎが正確に行われない。
- ④ 職員の学生対応（履修、試験、レポート）に時間が取られる。

2. 役割を果たすために、どのような取り組みが必要なのだろうか？

・書類を減少させ、手続きを簡略化する必要がある。

- ①、②→電子化（申請や入力）、書き方等についてAIの活用。
- ③ →AI（watson、siri等）の使用
- ④ →AI（ペッパーくん）の使用



問題解決に向けての職員の役割

AIの5年後、10年後の導入に向けて

①データ蓄積・整理

- ・課外活動等のデータを集めるために現行システムの稼働の範囲を広げる（学籍・就職・教務システムの一元管理など）。
- ・提供サービスの選択と集中として、学生のニーズ調査のために簡易アンケートをとる
- ・各種アンケート（既存）との連動性を持たせる。

②業務内容の見直し

- ・ICT活用によってペーパーレスやウェブ会議などを通して、無駄を省く。その費用（印刷代や機械代、人件費等）を削減することで業務が効率化され、業務のあり方を見直す機会となる。

③ICT・AIの知識を身につける

- ・既存のICTを十分に仕えていない職員が多いので、ICTに関する研修等をし、能力向上を図る。
- ・職員のスキルUP（資格取得）により、学生支援のレベルが向上する。

2028年AI導入に向けて

2018.4～

- ・ICT、AIの知識を身につける。
- ・業務内容の見直し、整理
- ・重点課題の設定

2020. 4～

- ・データ蓄積
- ・予算案の設定
- ・学内・学外広報
- ・協力会社の選定

2027. 4～

- ・ユーザー向け説明会
- ・規程等の整備

ご静聴ありがとうございました。